



佐々木 大三郎 議員

一問一答方式

**問**……………  
 当市の厳しい財政状況の要因は、財政力以上に多くの建物を所有していること、作った建物を有効に活用しきれない、いわゆるハコモノ行政にあると認識するが。

**答(市長)**……………  
 「第四次健全財政5カ年計画」の策定に合わせ、第二次遠野市総合計画はじめ各種計画との整合性を図りつつ、施設整備に係る経費や完成後の維持管理費の検証、有効活用など効率的な行政運営に

## 建物に係る物件費が多すぎる

市長 財政規模に見合った事業計画に努める

**問**……………  
 旧JABビル(あすもあ遠野)の整備と維持管理に高額な税金を投入してきたものの、1階部分の未使用状態が長年続いている。早急に解決策を見出すべきでは。

**答(市長)**……………  
 JRグループ会社による飲食・物販店の提案を受けていたが、新型コロナウイルスの影響で白紙になった。「戦略情報発信エリア」に位置しており、観光客

**問**……………  
 や市民が立ち寄りやすい環境にあることから早く結論を出したい。

**答(市長)**……………  
 ハード優先のハコモノ行政から、ソフトと住民サービス向上に重点を置いた政策に転換すべきでは。

**問**……………  
 財源不足を理由に当初の計画通りに整備されず毎年繰延状態が続いている。また、市民からの新規要望はほとんど受け入れてもらえない状況にある。財源確保を図り着実に推進すべきでないか。

**答(市長)**……………  
 整備事業の財源は、国からの交付金と起債、一般財源であることから全国市長会などの要望活動を通じて財源確保に努める。

**問**……………  
 この事業は日常生活に大きな影響を及ぼしている。また、地域に入るほど高齢化も進んでいることから高齢者などの社会的弱者に寄り添った行政運営に努めるべきでは。

**答(市長)**……………  
 高齢者に優しい道路・水路整備はその通りだが、財源が厳しくなりくりが大変なものも現実である。国土強靱化地域計画の策定を急ぎ、補助金等の優先採択を受けられるよう取り組んでいる。

### 令和7年度までの財政見通し(財政健全化前)

歳入(単位:百万円)

区分	R2	R3	R7
◇自主財源	5,791	5,721	4,888
◇地方交付税	7,435	7,190	6,894
◇国・県支出金等	10,297	8,881	5,425
合計	23,523	21,792	17,207

厳しい財政見通しの現状

主要三基金年度末残高(単位:百万円)

区分	R2	R3	R7
◇主要三基金残高	1,865	1,803	845
財政調整基金	1,440	1,432	541
市債管理基金	253	254	154
公共施設等整備基金	172	117	150



菊池 美也 議員

(遠野令和会)

一問一答方式

どうして勉強しなくちゃいけないの  
 自分が自分らしく、よりよく生きるため

**教育長**

**問**……………  
 学力の調査方法は。

**答(教育長)**……………  
 本市では、小学2〜5年生までは国語と算数、小学6年生と中学1年生は理科・社会を加え、中学2・3年生はさらに英語を加えた標準学力検査を平成25年から継続し、個人の伸びや経年変化を見取

あわせて、知能を検査し、知能と学力の相関を経年で把握している。この5年を見ると、知能から期待される学力を発揮している小学生の割合は90%前後を維持し、5年前に72%だった中学生は、80%台半ばまで伸びるなど改善が図られている。

## \*非認知能力 育てよう

教育長 認知能力と非認知能力はどちらも学力の要素であり、どちらも大切

**問**……………  
 学力との関係において非認知能力をどのように考えるか。

**答(教育長)**……………  
 ※学力の3要素いわゆる認知能力と非認知能力との間には一定程度の相関関係があるものと認識する。

**問**……………  
 児童生徒の自己評価ではなく、学問的な裏付けをもった非認知能力調査をおこなっているか。

**答(教育長)**……………  
 非認知能力に焦点化した学問的な裏付けのある調査は、現段階では実施していない。

**問**……………  
 学力の伸びと非認知能力を同時に調査できる新たな手法が全国に広がっている。取り入れる考えは。



**答(教育長)**……………  
 児童生徒一人一人の実態把握と教師の指導方法の改善は一体のものであり、調査結果から得られた児童生徒の学びの姿に応じた指導方法の改善を図っていくことは重要である。継続した取り組みの検証により成果と課題を明らかにし、施策に反映することが肝要であるが、適宜情報収集に努め、学力向上に資するものがあれば前向きに検討したい。

- ※非認知能力とは  
 目に見えない、数値化しにくい分野の能力。  
 自尊心、自制心、自信といった「自分を管理する力」と協調性、思いやり、道徳性などの「人と関わる力」のこと。
- ※学力の3要素とは  
 ①基礎的・基本的な知識・技能  
 ②思考力・判断力・表現力等  
 ③主体的に学習に取り組む態度

